

産業能率大学 経営学部

進路支援ゼミⅢ(4年次ゼミ・経営学科)	履修年次	4
	単位	2
中村 知子、岩井 善弘、江崎 和夫、大神 賢一郎、倉田 洋、齊藤 聡、齊藤 弘通、佐藤 義博、白土 由佳、杉田 一真、高原 純一、武内 千草、田中 彰夫、都留 信行、中島 智人、番田 清美、穂積 良浩、前村 真一、光定 洋介	配当期	前
	授業方法	演習/対面
<b>授業の内容</b>		
<p>[授業の概要]</p> <p>4年次ゼミでは、ゼミのテーマに基づき、関心のある業界、企業、ビジネス等について調査・分析を行い、志望する職業・企業等に向けた対策を継続し、志望の達成のための行動計画を実行する。進路の内定した学生も、自分の進む業界や企業等に関する研究を進め、進路に必要な知識やスキルの修得を行う。これらの取り組みを通じて、社会で活躍するビジネスパーソンとしての資質・能力を養成していく。ゼミの活動を通じて「大学で何をしたか」「自分は何かできるか」といった「強み」をつくとともに、社会との関わり、社会での役割を考える機会を持ち、自己のキャリア開発に役立つことをねらいとする。</p> <p>ゼミの担当教員はアカデミックアドバイザーと進路(就職)のアドバイザーを兼ね、卒業までのアドバイザーを継続して担当し、キャリアセンターと連携した進路支援、就職指導もゼミ単位で行う。大学生活の集大成である4年次ゼミにおいて、自分の可能性を伸ばし、ゼミの担当教員やゼミの仲間との関係を通して、生涯にわたる自己のあり方を築く授業となる。</p>		
<b>この科目の到達目標</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自己のキャリア形成に対する意識を持ち、進路の目標の実現のための活動を実行することができる。</li> <li>・ 専門分野の調査方法、分析方法、思考方法を身につけ、主体的に研究に取り組むことができる。</li> <li>・ 得られた成果について、報告書を作成し、成果を説明し正しく伝えることができる。</li> <li>・ 社会人として必要な素養を身につけ、自らの資質・能力を高め、スキルを磨くことができる。</li> </ul>		
<b>成績評価の方法</b>		
活動状況、取り組み姿勢、リーダーシップ、貢献度、提出物、学期末の報告書、発表等について、総合的に評価する。		
<b>週</b>	<b>授業項目</b>	
第1週	オリエンテーション 科目の目的・内容・方法、単位認定方法の確認 活動内容の説明、活動目標及び活動計画の確認 3年次の活動報告 進路の希望とテーマの確認	
第2～13週	進路内定のための活動、活動報告(毎週) 業界研究・企業研究・ビジネス研究の課題設定 テーマに関する調査・分析の実施	
<第2～13週のうちゼミごとに実施>	学修指導・進路指導:個別面談 事前・事後に面談報告を作成し、学生ポートフォリオに保存	
<第10～13週のうち1～2週>	ゼミ発表会 成果の発表と討議	
第14週	前学期のまとめ:活動実績、成果のまとめ 活動報告と発表資料を学生ポートフォリオに保存 夏休み中の活動・課題について 後学期の「就業力プログラム」の計画	